



前田記念腎研究所 茂原クリニック
前田記念 大原クリニック

広報委員会

今回のテーマは、「透析中に起こる諸症状」です。快適で安全な透析生活を送れるように、一緒に対策しましょう！

◎透析中は様々な症状が起こる危険性があります。

血圧が低下してフラフラする・気持ち悪くて吐きそう・足がつれて痛い等の経験があると思います。そんな症状が毎回続くと、透析に来るのが嫌になってしまいますよね？今回は、主な症状の原因や予防法を紹介します。

☆透析中に起こる主な症状

①血圧低下

透析中に起こる症状として一番多いのが血圧低下です。

- ・透析による大量の除水や電解質の急激な改善
- ・ドライウエイトが適正でない
- ・内服薬の影響
- ・透析前夜の睡眠不足
- ・心機能低下

などが主な原因です。また、透析中に食事を摂る方も低血圧になりやすいので注意が必要です。



②筋けいれん(こむらがえり)

筋肉が引きつり、痛む現象です。

透析患者さんでは、**時間当たりの除水量が多く**、筋肉の細胞が異常に収縮する場合や**電解質のバランスが崩れたとき**に起こります。特に、透析後半に多く見られます。その他、下肢の血流障害や神経障害、静脈瘤がある場合にも起こりやすくなります。



③かゆみ

かゆみは多くの透析患者さんが抱える問題です。透析中に起こるかゆみは、

- ・血液回路やダイアライザとの接触
- ・消毒やテープが合わない
- ・乾燥肌
- ・透析不足

などが主な原因です。



④血圧上昇

高血圧は、**血圧を調整するホルモンのバランスが崩れること**で透析中に生じる場合があります。

⑤腹痛

透析時の腹痛は、除水によって腸に行く血液が不足するために起こるとされています。**透析間の体重増加が多いと起こりやすくなります。**



⑥胸痛

胸部の不快感や痛みは**透析中の血圧低下**とともにしばしば現れることがあります。状態によって心電図をとり、心臓に異常がないか調べます。



⑦不整脈

不整脈の原因は様々ですが、透析による体の中の急激な変化が原因と考えられています。

高血圧、動脈硬化、虚血性心疾患、服用中の薬剤も不整脈の大きな原因となります。



☆透析中の諸症状への対応

透析中に何かしらの症状が発生した際には、基本的に透析の条件を緩やかにすることで、症状が緩和していきます。状態によって、補液や透析の中断を検討します。つれの場合は薬剤投与、保温・マッサージなどを行います。かゆみの場合は、薬剤投与、透析機材、テープ類など、原因となっているものを中止または変更をします。

☆快適な透析生活を送るために(患者さん側の予防方法)

血圧低下・腹痛・胸痛・不整脈・血圧上昇・筋けいれんなどの症状は、除水量が多いほど現れやすく、**きちんとした水分管理で透析中の除水量を少なくすることが大事です！**

また、かゆみは、**カルシウムやリンのバランス、皮膚の保湿、テープの貼付時間の変更**など、筋けいれんは、**下肢を冷やさないことや、透析中の保温**などに注意しましょう。

規則正しい食生活・日常生活や散歩や運動などを心がけることで快適な透析生活を送ることにつながります！！

どんな症状でも、重大な病気が隠れている可能性があるため、いつもと違う痛みや、違和感がある場合は、すぐにスタッフまでお知らせください！